



第 17 回世界地震工学会議における主催者の新型コロナウイルス感染症対策について

会場では、参加者の皆様が安心・安全に会場できるよう、仙台市のガイドラインに基づき感染予防対策を講じています。

1. ソーシャルディスタンスの確保

- ◆ 会場内レイアウトは椅子同士の距離が 1m 以上確保されるように配置します。
- ◆ 大ホール内は 1 席空けて着席可能とし、着席不可の席にはその旨表記します。
- ◆ 受付など混雑エリアにおいて、参加者が確保すべき距離を示すフロアステッカーを貼り付けます。
- ◆ 特別な利用を除き、エレベーターの利用を原則禁止とします。
- ◆ 受付窓口、昼食会場、休憩スペース、事務局はアクリル板を設置し飛沫感染予防を行います。

2. 消毒・清掃・換気

- ◆ 参加者へ定期的な手洗い・手指の消毒、咳・くしゃみエチケット等の一般衛生上の注意事項を呼び掛けます。
- ◆ セッション会場では発言者交代時にマイクと演台のアルコール消毒を実施します。
- ◆ 仙台国際センター入口と各会議室入口、お手洗い入口に手指消毒剤を設置します。
- ◆ 受付用機器は定期的に消毒を実施します。
- ◆ 昼食会場および休憩スペースは消毒係を配置の上、適宜消毒します。
- ◆ 全ての会場で空調設備や換気扇を使用し、喚起を行います。

3. 飲食スペース

- ◆ 食事スペースは主催者指定の場所のみとし、黙食を呼び掛けます。
- ◆ コーヒーブレイクは昼食会場と同様の会場にて実施いたします。
- ◆ 他スペースでは、水分補給を目的とした水分補給のみ可能とします。
- ◆ ゴミ箱は設置せず、ゴミは各自で持ち帰りします。

4. 一般参加者の体調および動線管理

- ◆ 仙台国際センターの入口にて検温を実施します。
- ◆ 平熱よりも 1 度以上の熱（目安 37.5℃）がある参加者に対しては入場をお断りします。
- ◆ セッション会場について、用意された席数以上の人が入室した場合は、スタッフが入室をお断りし、オンライン参加をご案内します。
- ◆ 各会場での入退室者を把握するシステム導入し、入室時および退室時に QR コードをかざしていただき、管理します。
（参加者、主催者、スタッフ含めて仙台国際センターに来場する全員が対象）

5. スタッフ、業者への対応

- ◆ 平熱よりも 1 度以上の熱（目安 37.5℃）ある場合や軽度であっても咳や息苦しさ等体調不良の場合は、会場を控えることを徹底いたします。

<スタッフ>

- ◆ 毎朝来場前に体温記載も含めて、健康状態のアンケートに回答します。
- ◆ 毎朝来場前に抗原検査を実施し、陰性であることを確認いたします。

<搬入搬出の業者>

- ◆ 設営・撤去時、開催日共に作業員、スタッフの名簿を作成し管理します。
- ◆ 作業員には、検温等健康状態の自己チェックを徹底いたします。

6. その他

- ◆ 主要な感染防止策周知の看板を作成し、感染防止を呼びかけます。
- ◆ コングレスバッグなどの制作物は、感染予防の観点により手渡しではなく、各個人にてお持ちいただきます。
- ◆ 参加者には極力手荷物の自己管理を呼びかけ、クロークは非設置とします。
- ◆ 発表者は演台での発表中についてもマスク着用とします。
- ◆ お手洗いのハンドドライヤーは使用禁止とします。